

町田市市民意識調査報告書

<概要版>

2019年12月
町田市

目次

I	調査の概要	P 3
II	調査の結果	P 6
1	回答者の属性	P 7
2	施策に対する満足度・重要度	P 11
	1. 施策に対する「満足・まあ満足」(上位10施策)	P 11
	2. 施策に対する「やや不満・不満」(上位10施策)	P 12
	3. 施策に対する「満足度がわからない」(上位10施策)	P 13
	4. 施策に対する「重要・まあ重要」(上位10施策)	P 14
	5. 施策に対する「あまり重要でない・重要でない」(上位10施策)	P 15
	6. 施策に対する「重要度がわからない」(上位10施策)	P 16
	7. 施策に対する満足度・重要度の加重平均による評価	P 17
3	現在のまちのイメージと今後のあるべきまちのイメージ	P 19
	1. 現在のまちのイメージ	P 19
	2. 今後あるべきまちのイメージ	P 20
	3. 現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージの差	P 21
4	希望出生率	P 23

I . 調査の概要

I 調査の概要

<調査の目的>

本調査は、町田市民に対し、町田市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や、今後力を入れるべき施策などについて質問し、新たな基本構想・基本計画の策定検討における重要な基礎情報とすることを目的に実施したものです。

<調査の方法>

調査方法	アンケート調査票の配布・回収ともに郵送
調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した、町田市在住の満15歳以上の男女5,000人
調査期間	2019年6月24日～7月8日

<回収の状況>

配布数(件)	有効回収数(件)	有効回収率(%)
5,000	1,791	35.8

＜読む際の留意点＞

- 本調査の間25で「10歳代」を選択することができますが、「10歳代」は回答者数が少ないため、本集計においては「20歳代」に合算し「20歳代以下」として集計しています。
- 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- 回答比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています（※複数回答を除く）。また、有効でない回答については回答総数から除いているため、「n」と有効回収数（1,791件）は一致しません。
- 一般的に母集団が2万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれています。本調査は2万人以上の無限母集団であり、対象者数5,000人（回収数1,791人）は、統計上有効な数値であると考えられます。
- 本文及び図表において、回答選択肢の表記が長いものに関しては、適宜、表記を一部簡略化しています。

Ⅱ. 調査の結果

Ⅱ 調査の結果

1 回答者の属性

<性別>

	回答数	構成比
男性	728人	40.6%
女性	1,018人	56.8%
選択せず	24人	1.3%
無回答	21人	1.2%
合計	1,791人	100%

<性年代別>

	全体		男性		女性		選択せず		無回答	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
20歳代以下	140人	22.5%	62人	22.4%	75人	22.5%	3人	31.6%	0人	0.0%
30歳代	227人	13.9%	87人	13.1%	137人	14.5%	3人	15.8%	0人	0.0%
40歳代	349人	21.4%	117人	17.6%	226人	24.0%	6人	31.6%	0人	0.0%
50歳代	338人	20.7%	125人	18.8%	208人	22.1%	4人	21.1%	1人	4.8%
60歳代	324人	19.9%	158人	23.7%	161人	17.1%	4人	21.1%	1人	4.8%
70歳以上	391人	24.0%	179人	26.9%	210人	22.3%	2人	10.5%	0人	0.0%
無回答	22人	1.2%	0人	0.0%	1人	0.1%	2人	8.3%	19人	90.5%
合計	1,791人	100%	728人	100%	1018人	100%	24人	100%	21人	100%

1 回答者の属性

<就業状況>

	回答数	構成比
勤め人	559人	31.2%
非常勤	376人	21%
自営業	114人	6.4%
家事専業	307人	17.1%
学生	84人	4.7%
無職、その他	326人	18.2%
無回答	25人	1.4%
合計	1,791人	100%

<家族構成>

	回答数	構成比
単身世帯	174人	9.7%
夫婦のみ世帯	490人	27.4%
親子2世代	957人	53.4%
親・子・孫の3世代	115人	6.4%
その他	29人	1.6%
無回答	26人	1.5%
合計	1,791人	100%

<世帯員の状況>

	回答数	構成比
妊娠中の方	17人	0.9%
就学前の児童	200人	11.2%
小学生	239人	13.3%
中学生	149人	8.3%
65歳以上の方	560人	31.3%
介護を必要とする方	112人	6.3%
該当する方はいない	724人	40.4%
無回答	61人	3.4%
合計	2,062人	-

※家族構成の設問は複数回答が可能であるため、
回答数の合計（2,062人）と有効回収数（1,791人）
は一致しません。

1 回答者の属性

<居住地>

地区	回答数	構成比	町名
相原	57人	3.2%	相原町
小野路	48人	2.7%	野津田町、小野路町
小山	125人	7%	小山町、小山ヶ丘
小山田	68人	3.8%	上小山田町、下小山田町、函師町
忠生	211人	11.8%	木曾町、根岸町、根岸、忠生、木曾東、木曾西、小山田桜台、常磐町、矢部町、山崎町、山崎
玉川学園	145人	8.1%	南大谷、玉川学園、東玉川学園
鶴川	290人	16.2%	真光寺町、真光寺、広袴町、広袴、能ヶ谷、鶴川、大蔵町、金井町、金井、薬師台
成瀬	212人	11.8%	成瀬が丘、高ヶ坂、成瀬台、成瀬、南成瀬、西成瀬
町田	249人	13.9%	原町田、中町、森野、旭町、本町田
南	274人	15.3%	つくし野、南つくし野、小川、鶴間、南町田、金森、金森東
三輪	48人	2.7%	三輪町、三輪緑山
無回答	64人	3.6%	-
合計	1,791人	100%	-

1 回答者の属性

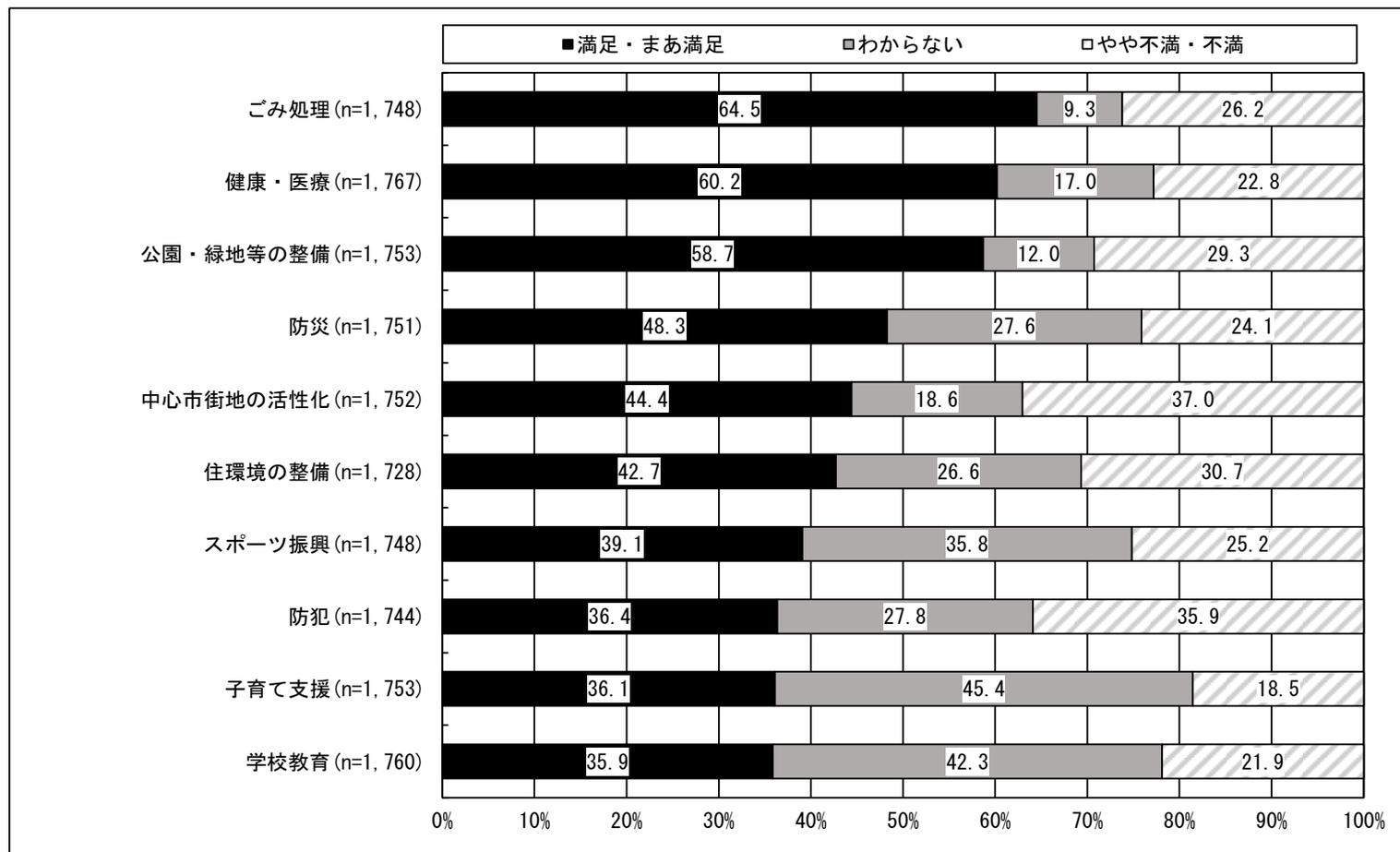
<居住年数>

	回答数	構成比
1年未満	37人	2.1%
1年以上～5年未満	150人	8.4%
5年以上～10年未満	167人	9.3%
10年以上～20年未満	439人	24.5%
20年以上	977人	54.6%
無回答	21人	1.2%
合計	1,791人	100%

2 1. 施策に対する「満足・まあ満足」(上位10施策)

—「ごみ処理」「健康・医療」「公園・緑地等の整備」など、
多くの市民の生活に密接に関わる施策の選ばれた割合が高くなっている—

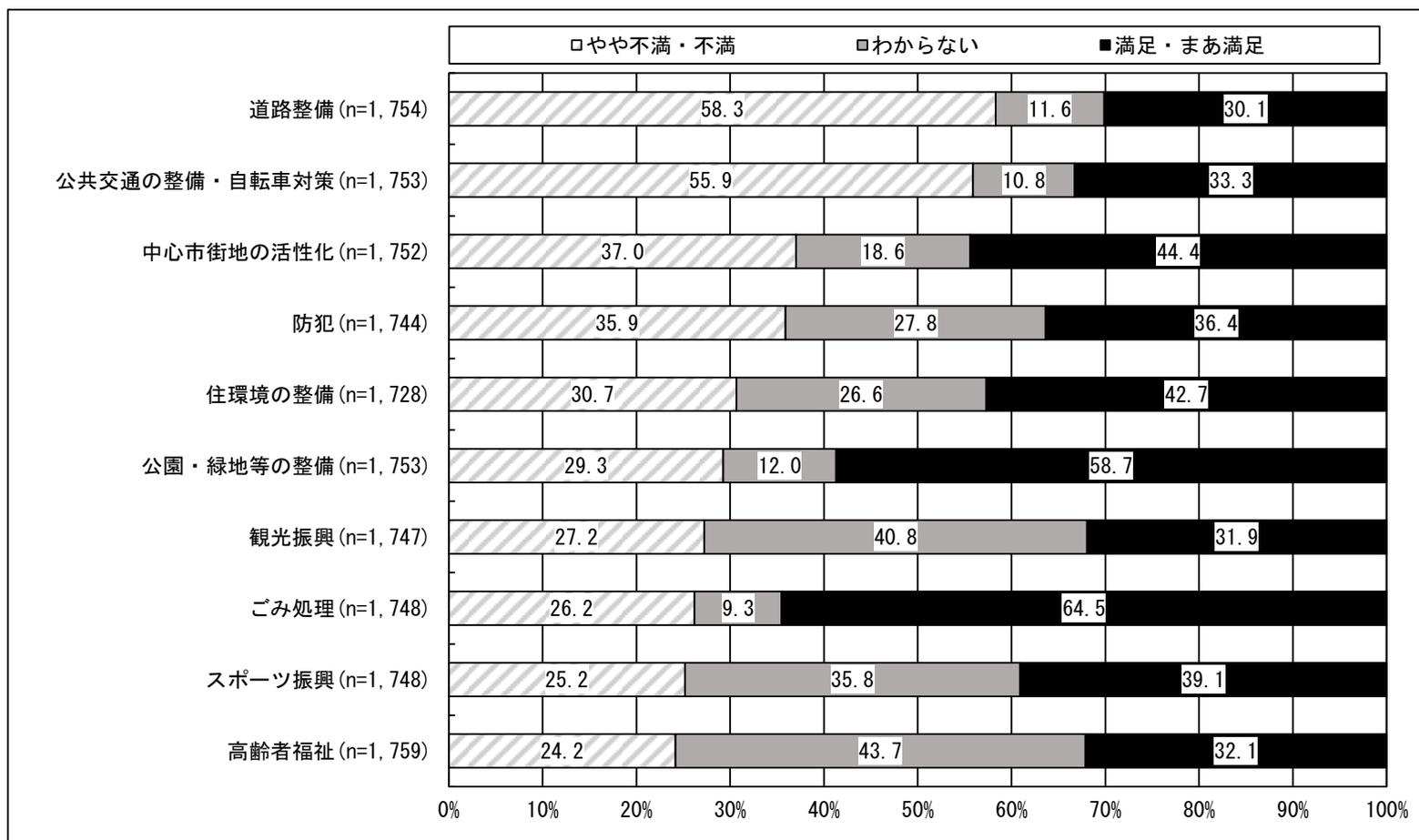
- 市の施策に対する満足度(「満足」+「やや満足」)は、「ごみ処理」が64.5%と最も高く、次いで、「健康・医療」が60.2%、「公園・緑地等の整備」が58.7%と続いている。



2 施策に対する「やや不満・不満」(上位10施策)

一半数以上の市民が「道路整備」や「公共交通の整備・自転車対策」といった、道路環境や交通手段に関する施策を不満に思っている

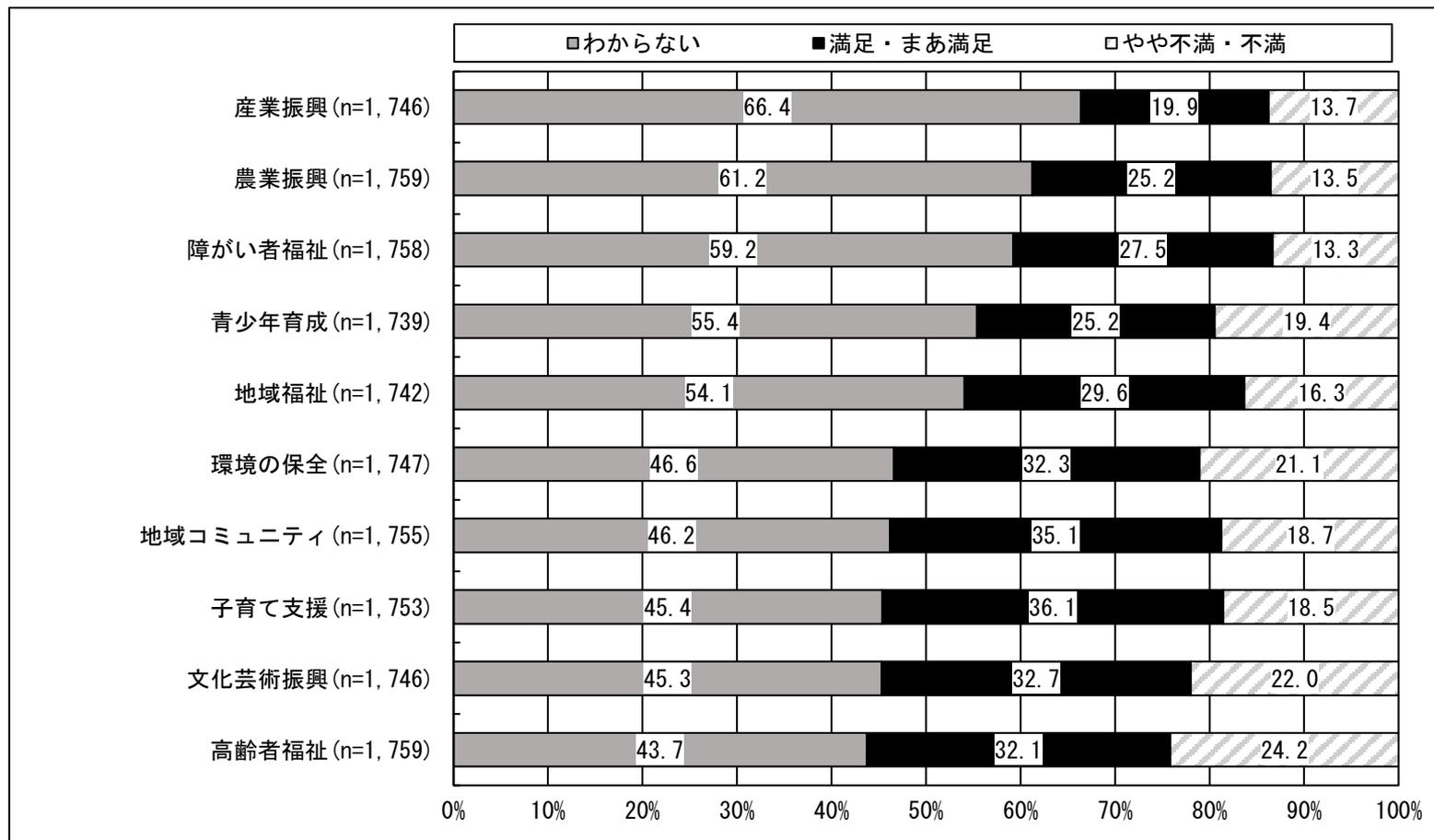
- 市の施策に対する不満足度(「やや不満」+「不満」)は、「道路整備」58.3%と最も高く、次いで「公共交通の整備・自転車対策」が55.9%、「中心市街地の活性化」が37.0%と続いている。



2 3. 施策に対する「満足度がわからない」(上位10施策)

—「産業振興」、「農業振興」、「障がい者福祉」に関する施策については、
「満足度がわからない」という回答が多い—

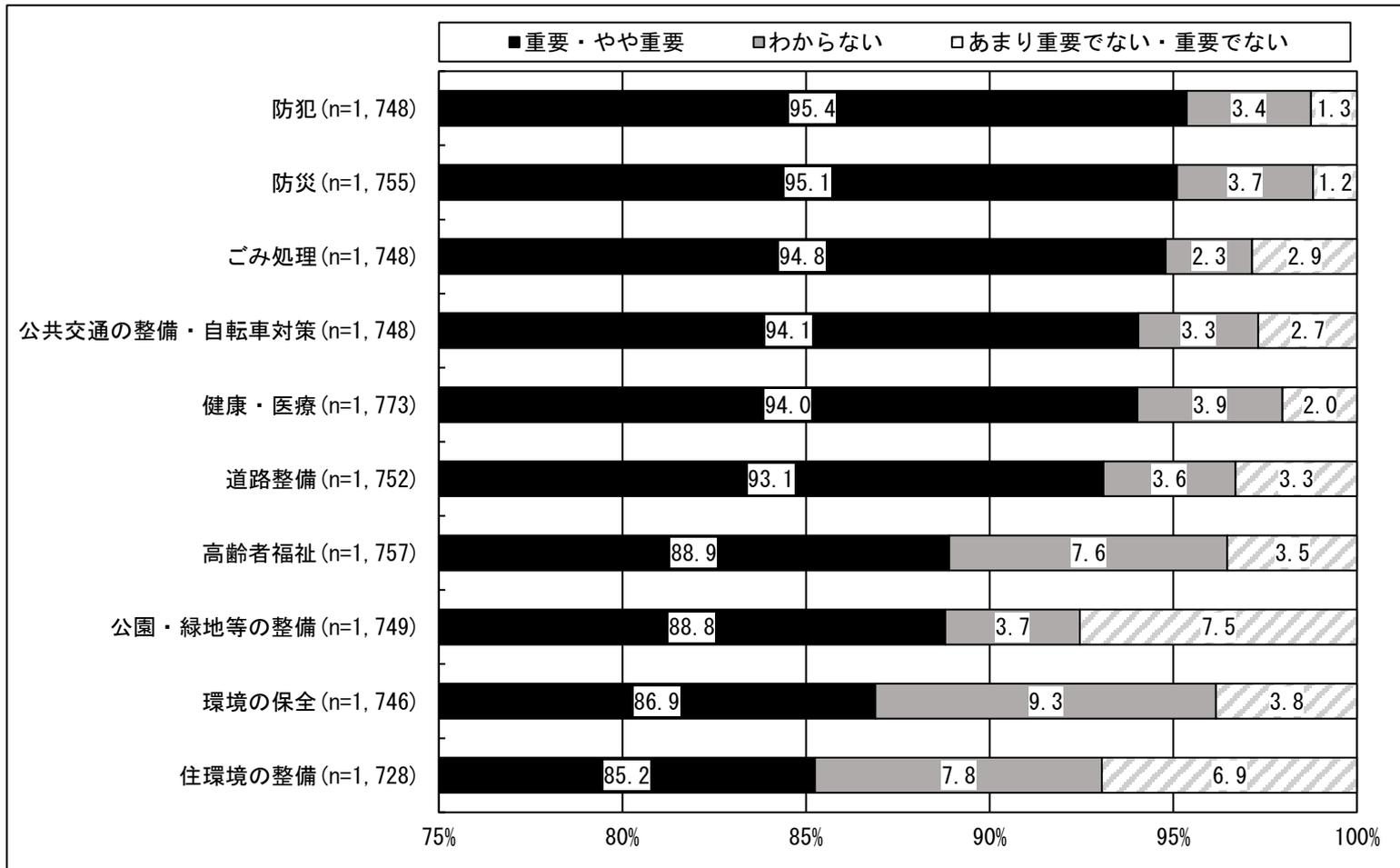
- 市の施策に対する「満足度がわからない」という回答は、「産業振興」66.4%と最も高く、次いで「農業振興」61.2%、「障がい者福祉」が59.2%と続いている。



2 4. 施策に対する「重要・まあ重要」(上位10施策)

—「防犯」や「防災」といった安全安心に関する施策を重要と考える回答者が多い—

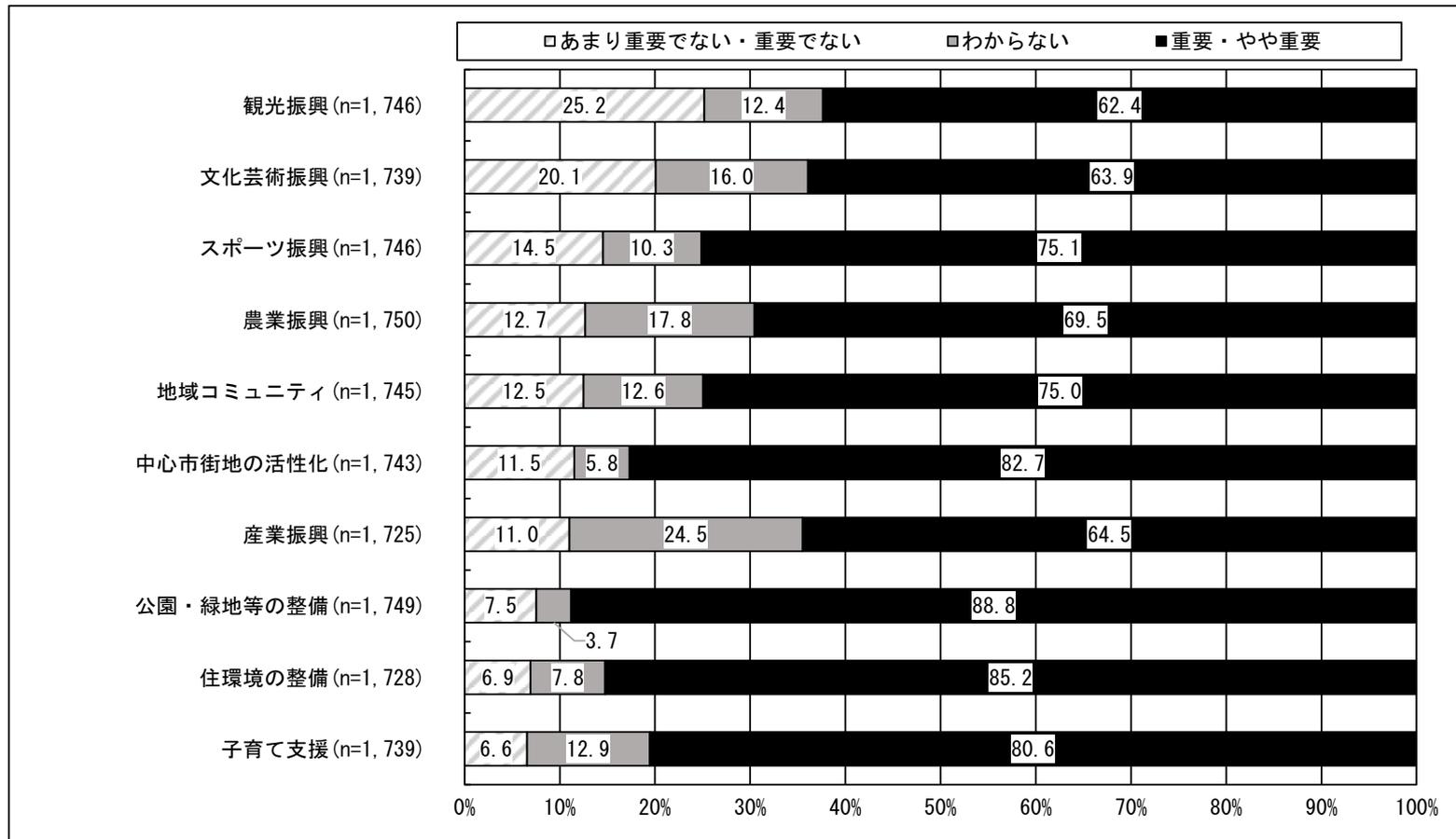
- 市の施策に対する重要度(「重要」+「やや重要」)は、「防犯」が95.4%と最も高く、次いで、「防災」が95.1%、「ごみ処理」が94.8%と続いている。



5. 施策に対する「あまり重要でない・重要でない」(上位10施策)

—「あまり重要でない」・「重要でない」と思われている施策の上位4項目が「観光振興」、「文化芸術振興」などの振興に関する施策となっている—

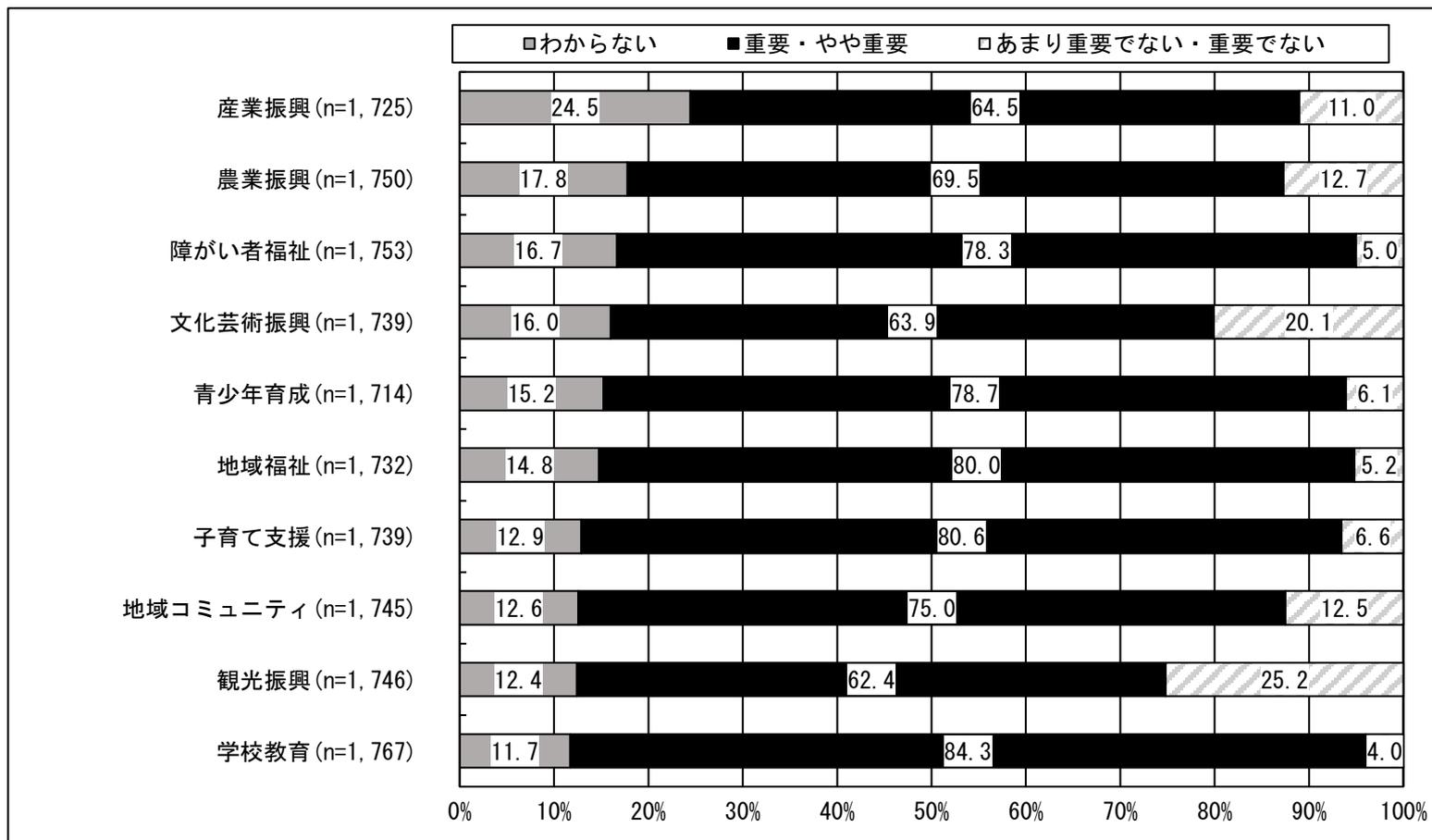
- 市の施策に対する「重要でない(「あまり重要でない」+「重要でない」)」という回答は、「観光振興」25.2%と最も高く、次いで「文化芸術振興」が20.1%、「スポーツ振興」が14.5%と続いている。



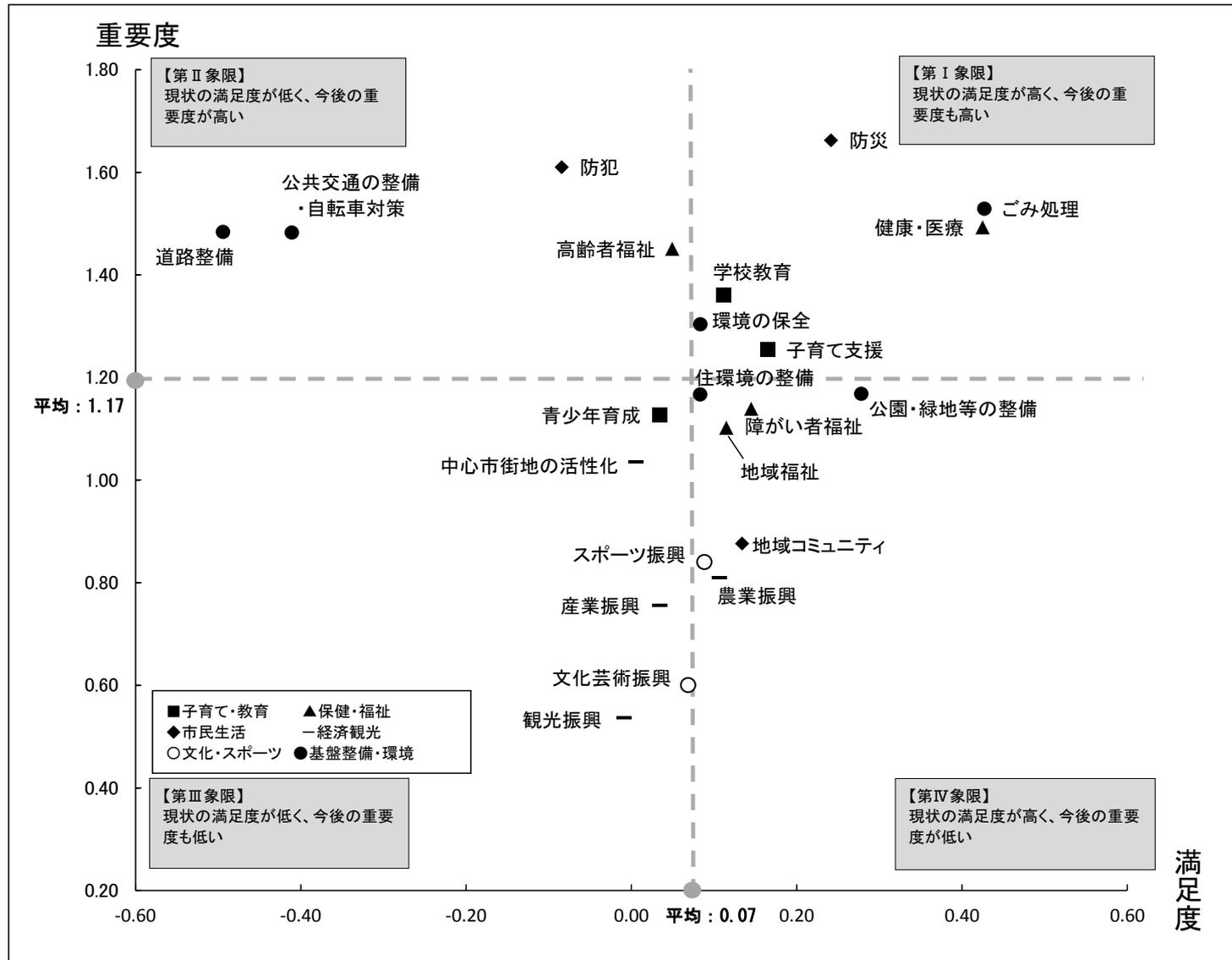
6. 施策に対する「重要度がわからない」(上位10施策)

一満足度と同様に、「産業振興」、「農業振興」、「障がい者福祉」に関する施策について、「重要度がわからない」と回答する市民が多い

- 市の施策に対する「重要度がわからない」という回答は、「産業振興」24.5%と最も高く、次いで「農業振興」17.8%、「障がい者福祉」が16.7%と続いている。



7. 施策に対する満足度・重要度の加重平均による評価



※「加重平均値」は、満足度・重要度の5段階に2点、1点、0点、-1点、-2点という点数を設定し、以下の式で算出します。

加重平均値 = $[2点 \times W_1 + 1点 \times W_2 + 0点 \times W_3 + (-1点) \times W_4 + (-2点) \times W_5] / (W_1 + W_2 + W_3 + W_4 + W_5)$ (5段階各々に回答した人数を W_1, W_2, W_3, W_4, W_5 としている。)

2 7. 施策に対する満足度・重要度の加重平均による評価

—今後の重要性が高く、現在の満足度が低い施策は、「道路整備」や「公共交通の整備・自転車対策」といった道路・交通環境に関する施策が目立つ—

【第Ⅱ象限】満足度低・重要度高

- 高齢者福祉
- 防犯
- 道路整備
- 公共交通の整備・自転車対策

【第Ⅰ象限】満足度高・重要度高

- 子育て支援
- 学校教育
- 健康・医療
- 防災
- ごみ処理
- 環境の保全

【第Ⅲ象限】満足度低・重要度低

- 青少年育成
- 産業振興
- 中心市街地の活性化
- 観光振興
- 文化芸術振興

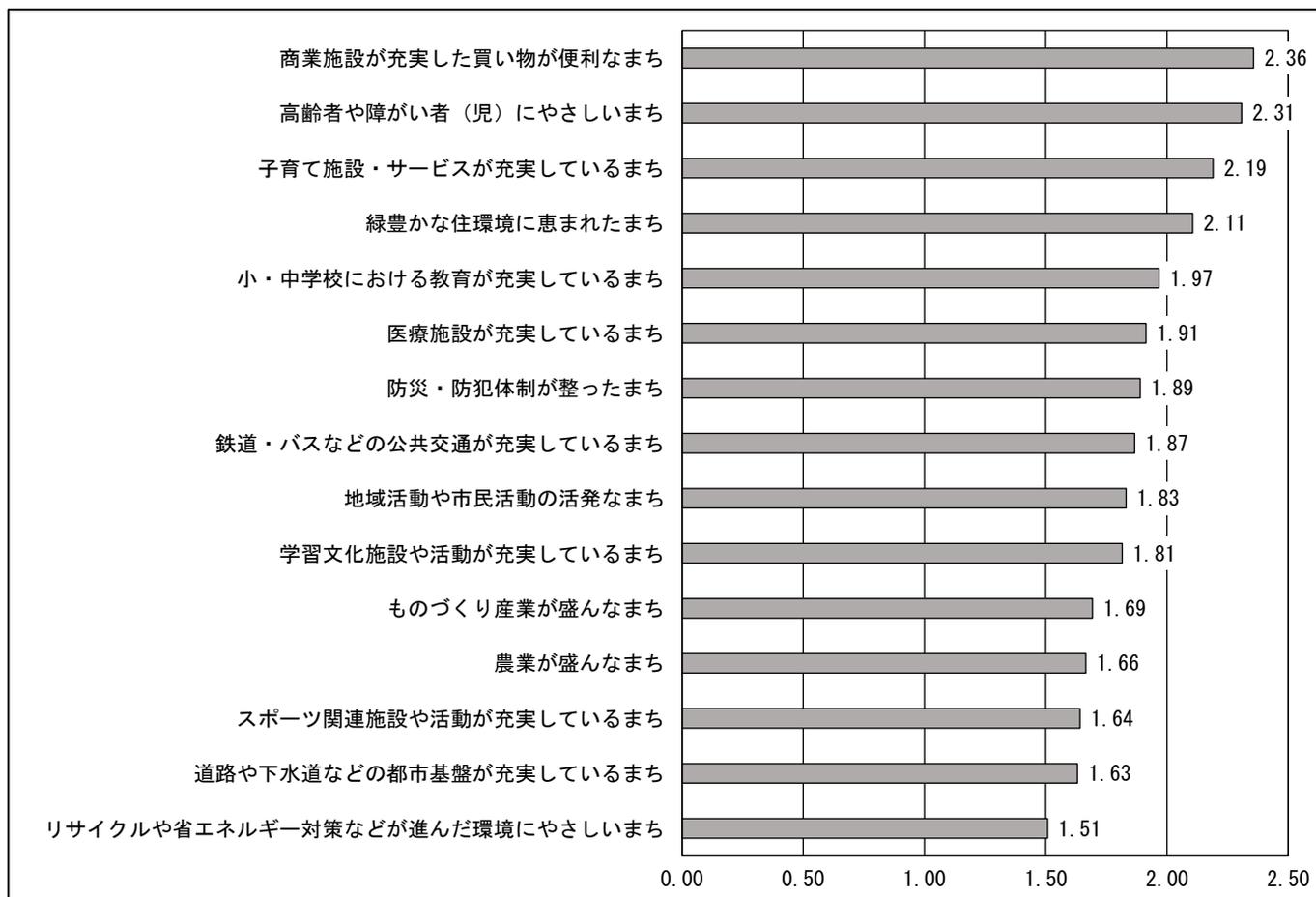
【第Ⅳ象限】満足度高・重要度低

- 障がい者福祉
- 地域福祉
- 地域コミュニティ
- 農業振興
- スポーツ振興
- 公園・緑地等の整備
- 住環境の整備

3 1. 現在のまちのイメージ

— 現在、買い物が便利で高齢者や障がい者にやさしく、
また、子育て支援・学校教育が充実しているというイメージを市民に持たれている —

- 「商業施設が充実した買い物が便利なまち」の加重平均値は2.36と最も高く、次いで「高齢者や障がい者(児)にやさしいまち」が2.31と高い。

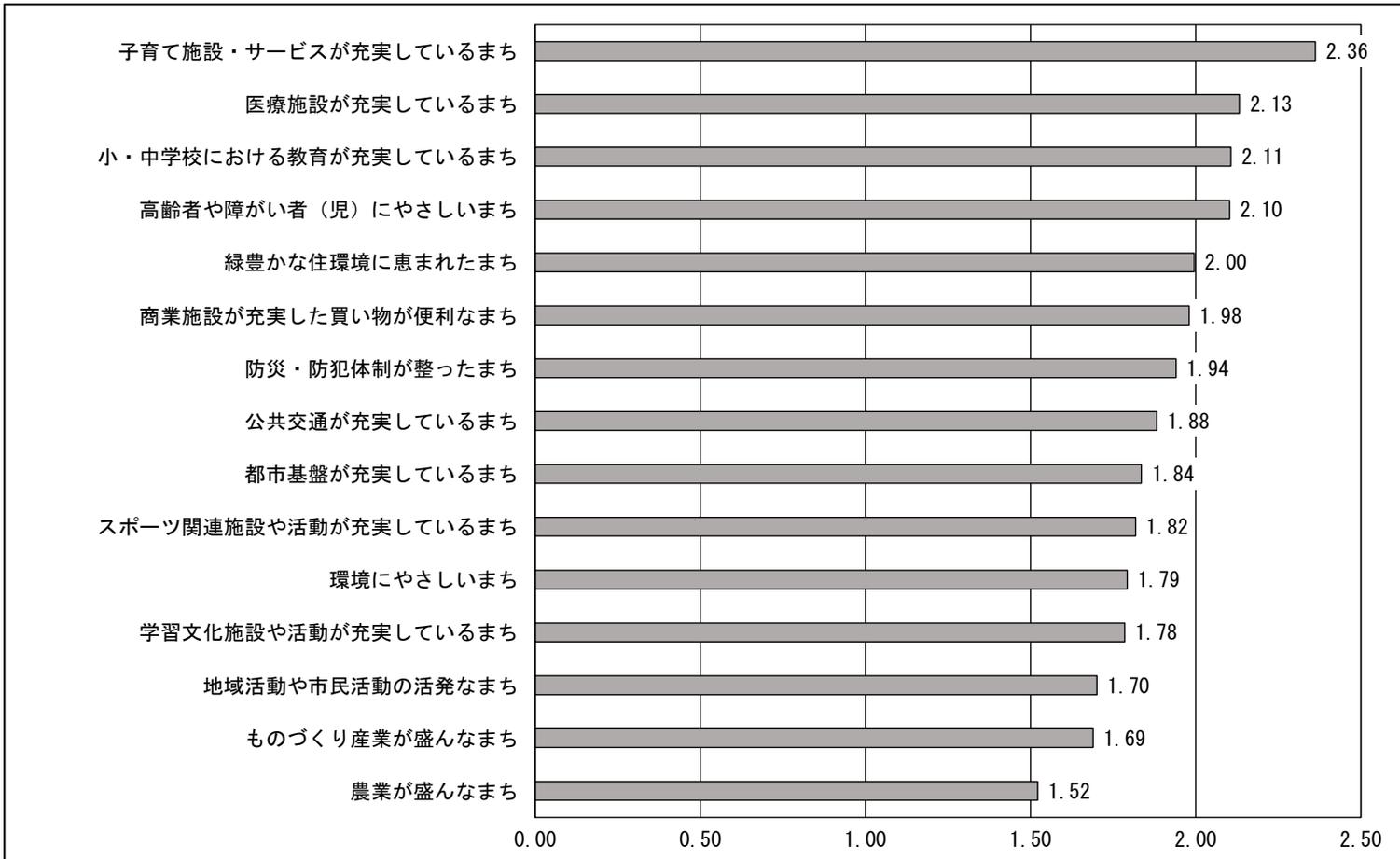


※「加重平均値」は、1位、2位、3位に3点、2点、1点という点数を設定し、以下の式で算出します。
加重平均値 = $(3点 \times W_1 + 2点 \times W_2 + 1点 \times W_3) / (W_1 + W_2 + W_3)$ (各順位に回答した人数を W_1 、 W_2 、 W_3 としている。)

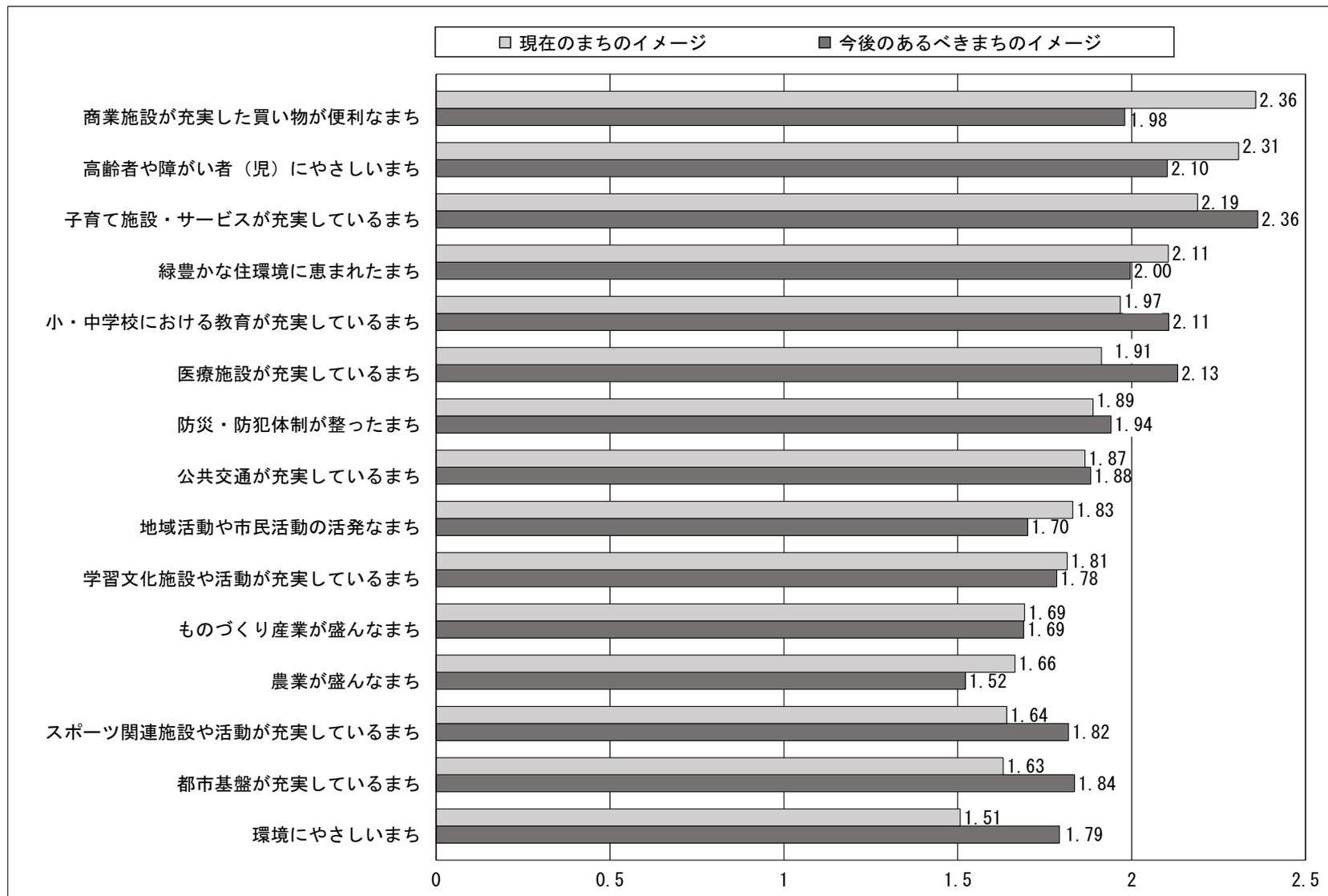
3 2. 今後あるべきまちのイメージ

— 今後、子育て支援・学校教育や医療の充実と、高齢者や障がい者にやさしいまちにしていくべきというイメージを市民に持たれている —

- 「子育て施設・サービスが充実しているまち」の加重平均値が2.36と最も高く、次いで「医療施設が充実しているまち」が2.13と高い。



※「加重平均値」は、1位、2位、3位に3点、2点、1点という点数を設定し、以下の式で算出します。
加重平均値 = $(3点 \times W_1 + 2点 \times W_2 + 1点 \times W_3) / (W_1 + W_2 + W_3)$ (各順位に回答した人数をW₁、W₂、W₃としている。)



※「加重平均値」は、1位、2位、3位に3点、2点、1点という点数を設定し、以下の式で算出します。

加重平均値 = $(3点 \times W_1 + 2点 \times W_2 + 1点 \times W_3) / (W_1 + W_2 + W_3)$ (各順位に回答した人数を W_1 、 W_2 、 W_3 としている。)

3 現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージの差

一環境、医療、都市基盤は、現在のまちのイメージと
 今後のあるべきまちのイメージの差が大きい

- 「子育て施設・サービスが充実しているまち」は、現在のまちのイメージの加重平均値は3位であるが、今後のあるべきまちのイメージでは1位になっている。

	現在のまちのイメージ		今後あるべきまちのイメージ		現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージの差	
	順位	加重平均値	順位	加重平均値	順位	加重平均値
商業施設が充実した買い物が便利なまち	1	2.36	6	1.98	↘	▲ 0.38
高齢者や障がい者(児)にやさしいまち	2	2.31	4	2.10	↘	▲ 0.21
子育て施設・サービスが充実しているまち	3	2.19	1	2.36	↗	0.17
緑豊かな住環境に恵まれたまち	4	2.11	5	2.00	↘	▲ 0.11
小・中学校における教育が充実しているまち	5	1.97	3	2.11	↗	0.14
医療施設が充実しているまち	6	1.91	2	2.13	↗	0.22
防災・防犯体制が整ったまち	7	1.89	7	1.94	→	0.05
公共交通が充実しているまち	8	1.87	8	1.88	→	0.01
地域活動や市民活動の活発なまち	9	1.83	13	1.70	↘	▲ 0.13
学習文化施設や活動が充実しているまち	10	1.81	12	1.78	↘	▲ 0.03
ものづくり産業が盛んなまち	11	1.69	14	1.69	↘	0.00
農業が盛んなまち	12	1.66	15	1.52	↘	▲ 0.14
スポーツ関連施設や活動が充実しているまち	13	1.64	10	1.82	↗	0.18
都市基盤が充実しているまち	14	1.63	9	1.84	↗	0.21
環境にやさしいまち	15	1.51	11	1.79	↗	0.28

※「加重平均値」は、1位、2位、3位に3点、2点、1点という点数を設定し、以下の式で算出します。

$$\text{加重平均値} = (3点 \times W_1 + 2点 \times W_2 + 1点 \times W_3) / (W_1 + W_2 + W_3)$$
 (各順位に回答した人数をW₁、W₂、W₃としている。)

4 町田市の希望出生率

<希望出生率とは>

- 「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、子どもの数に関する希望がかなうとした場合に想定される出生率です。

～希望出生率の算出方法～

(①有配偶者割合 × ②夫婦の予定子ども数 + ③独身者割合 × ④独身者のうち結婚を希望する者の割合 × ⑤独身者の希望子ども数) × ⑥離別等の影響※

出典:「将来の人口動向等について」平成31年4月22日(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)をもとに作成

※離婚や死別、再婚等を経験した女性の完結出生児数は、初婚同士の夫婦に比べて低い傾向にあるため、初婚夫婦同士に基づく出生児数を全ての既婚女性の平均出生児数に変換に用いる数値。

<町田市の希望出生率の算出方法>

- 本市では、上記の計算式に準拠し、希望出生率を算出しています。

4 町田市の希望出生率

<町田市の数値の根拠>

項目	数値	根拠
町田市の希望出生率	1.91	-
①有配偶者割合	26.4%	総務省統計局「国勢調査」（平成27年）における町田市の18～34歳女性の有配偶者割合
②夫婦の予定子ども数	2.39	今回の市民意識調査の回答者のうち、10歳代から40歳代の有配偶女性が予定する子どもの数（285人が回答）
③独身者割合	73.6%	1－有配偶者割合
④独身者のうち結婚を希望する者の割合	90.1%	今回の市民意識調査の回答者のうち、10歳代から30歳代の女性で、「結婚していない」を選んだ人（91人）の中で、「すぐにでも結婚したい」、「いずれは結婚したい」を選んだ人（82人）の割合
⑤独身者の希望子ども数	2.06	上記④回答者の希望する子ども数（79人が回答）
⑥離別等の影響	0.955	国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」における出生中位の仮定に用いられた離死別等の影響

4 国の希望出生率(参考)

<国の数値の根拠>

項目	数値	根拠
国の希望出生率	1.79	-
①有配偶者割合	32.0%	総務省統計局「国勢調査」(平成27年)における18~34歳の有配偶者割合(女性)
②夫婦の予定子ども数	2.01	国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(第15回、平成27年)」における夫婦の平均予定子ども数
③独身者割合	68.0%	1 - 有配偶者割合
④独身者のうち結婚を希望する者の割合	89.3%	上記「出生動向基本調査」における18~34歳の独身者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合(女性)
⑤独身者の希望子ども数	2.02	上記「出生動向基本調査」における18~34歳の独身者(「いずれ結婚するつもり」と答えた者)の平均希望子ども数(女性)
⑥離別等の影響	0.955	国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」における出生中位の仮定に用いられた離死別等の影響